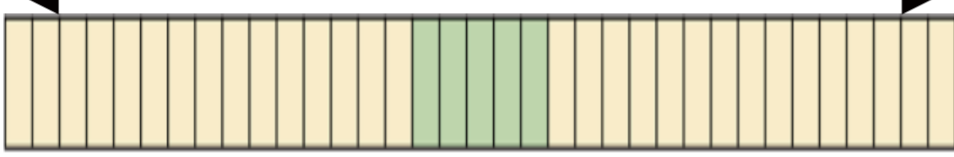

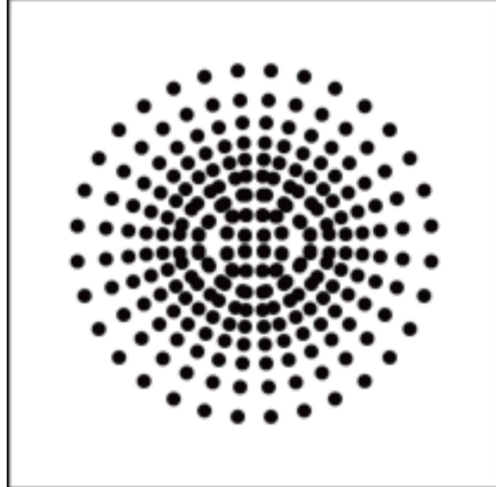
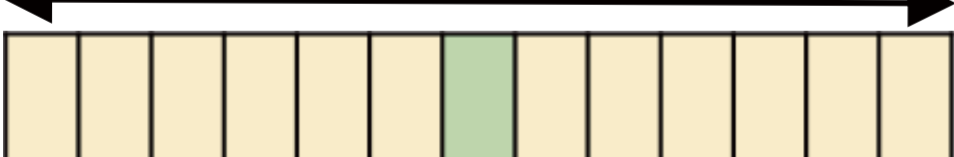
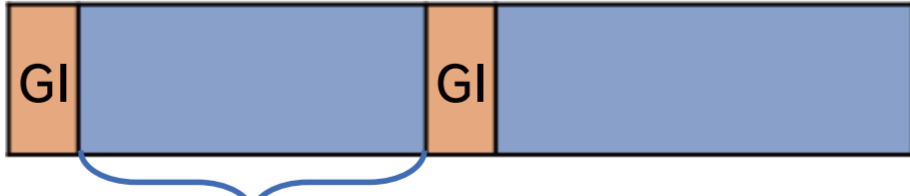


# 地上放送高度化方式の伝送技術 ～伝送性能の向上～

新たな要素技術の導入や信号構造の改良により周波数利用効率が向上

帯域幅 セグメント数	FFTサイズ ガードインターバル(GI)比	誤り訂正符号	キャリア変調
地上放送高度化方式：伝送容量 30.6 Mbps @ 35 セグメント（現行方式と同じ条件で約 1.7 倍）			
<p>5.83MHz</p>  <p>セグメント数：35</p> <p>セグメントの細分化により サービス割当の柔軟性向上 (1/3セグメント単位での帯域 割り当ても可能)</p>	<p>8k (8,192), 16k (16,384), 32k (32,764) (例)16k, GI= 800/16384(126μs)</p>  <p>有効シンボル長 2592μs</p> <p>GI長が126μsのとき FFTサイズ拡大によりGI比が抑制 ⇒ 伝送容量向上</p>	<p>内符号:LDPC符号 符号化率:13種類 2/16~14/16</p> <p>外符号:BCH符号</p>	<p>QPSK,16QAM,64QAM 256QAM,1024QAM,4096QAM 不均一コンスタレーション(NUC)</p>  <p>(例)256NUC 符号化率12/16</p>
現行の地上デジタル放送方式：伝送容量 18.2 Mbps @ 13 セグメント			
<p>5.57MHz</p>  <p>セグメント数：13</p> <p>(1セグメント単位で帯域割り当て)</p>	<p>2k (2,048), 4k (4,096), 8k(8,192) ※運用は8k, GI=1/8(126μs)</p>  <p>有効シンボル長 1008μs</p>	<p>内符号:畳み込み符号 符号化率:5種類 1/2, 2/3, 3/4, 5/6, 7/8 ※運用は3/4</p> <p>外符号: リードソロモン符号</p>	<p>QPSK, 16QAM, 64QAM ※運用は64QAM</p> 